

学 習 日 誌

1月9日(金)	講 師	元毎日新聞記者 長谷川 孝さん
出席者数 64名	記 録 者	5年8班 田中 久雄
講 座 名	社会的課題G講座3「戦後」80年の振り返りと揺れ動く世情 ～訴える力が弱まった？ 平和・非戦の訴え	
プログラム担当者	館・社会的課題グループ	
時 間・場 所	13時30分 ～ 15時00分 、第1集会室にて	

【学習内容】

1. 「敗戦」より「終戦」後としての戦後80年

- ◇ <浮かれ昭和>の「終戦後80年」と忘れられた「敗戦後80年」
- ◇ 昭和前期（軍事国家、戦争、弾圧など）20年と解放としての後期の昭和
- ◇ 煽り・あおられた国家・メディア・国民 石破前首相の戦後80年所感
- ◇ “昭和の美化” 昭和百年?? 治安維持法 100年!! 大事な大正時代！

2. 戦後の国際秩序（平和、民主主義、法の支配、自由、人権）の動揺

- ◇ 五大国の“退場”と国連総会の役割が大きくなった国際連合
- ◇ 主要な敗戦処理というべき日本国憲法制定・平和国家の約束
- ◇ 「国是」としての非核3原則や武器輸出3原則などの見直しの動き
- ◇ 「戦争を知っている」政治家の不在 90歳近くでない

3. 強いことはよいことか？ 12・8は真珠湾攻撃だけだったのか？

- ◇ 「太平洋戦争」から「アジア太平洋戦争」へ
～12・8 マレー半島コタバルに日本軍進軍、イギリスなどと戦闘
- ◇ 歴史教育失敗とを感じる世論の動向
- ◇ 強い国家、経済、政府（統治力）とリーダー、防衛力、日本列島、などなど



【感想】

このように多くのトピックスが次から次へと取り上げられ、講師の考えに沿った新聞記事の切り抜きの紹介とともに、話が展開されました。私たちも目を向けるべき、そして考えるべきことがたくさんあることを再認識する機会となりました。ただ、当然ながら多様な考え方があり、講師とは考えを異にするあすなろ生がいらっしゃる空気が、聴講しているあいだにも、感じられました。